

令和3年3月26日

令和2年度第2回四條畷市子ども・子育て会議（書面開催結果）

1 意見提出用紙の提出状況

書面開催にあたり配布した意見提出用紙の提出状況は下表のとおりでした。

提出（出席）	小寺委員長、柏原副委員長、河原委員、市林委員、西岡委員、原委員、森本委員、大艸委員、小林委員、福井委員、山田委員
未提出（欠席）	福地委員

過半数の委員から意見提出用紙の提出がありましたので、四條畷市子ども・子育て会議規則第3条第2項の規定により、会議が成立することをご報告します。

2 次第2「四條畷すみれ保育園の利用定員の変更について」

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

(小寺委員長) 了解しました。
(柏原副委員長) 実状に応じた変更で良いと思います。
(河原委員) 特にありません。
(市林委員) 良いと思います。2号認定のお子様が多く、1号認定で入園希望の方が多き事に対する変更という事ですね？園で過ごすお子様の人数、また一人の先生が見るお子様の人数が変わらないのであればよろしいと思います。
【回答（子ども政策課）】 四條畷すみれ保育園の利用定員の変更につきましては、在園の2号認定児が保育の必要性がなくなった場合も、引き続き園に通いたい意向を示されているにも関わらず、1号認定の定員が不足しており、受け入れができない状況にあり、かつ2号認定の定員はそのニーズから変更を行わない方向性であるため、2、3号認定児の定員は58人と変更はありませんが、1号認定児は6人の2人増となり、園全体の定員が増加します。

<p>なお、定員増加にあたっては、職員配置基準を満たしており、指導計画に基づいた教育・保育を引き続き行います。</p>
<p>(西岡委員) 特にありません。</p>
<p>(原委員) 特にありません。</p>
<p>(森本委員) なし。</p>
<p>(大艸委員) 定員が増えることは、とても良いと思います。</p>
<p>(小林委員) 異議ありません。</p>
<p>(福井委員) 定員が増えることは、いい事だと思います。</p>
<p>(山田委員) 特にありません。</p>

3 次第3 「忍ヶ丘いるかこども園の利用定員の変更について」

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

<p>(小寺委員長) 了解しました。</p>
<p>(柏原副委員長) 実状に応じた変更で良いと思います。</p>
<p>(河原委員) 特にありません。</p>
<p>(市林委員) 良いと思います。2号認定のお子様が多く、1号認定で入園希望の方が多き事に対する変更という事ですね？園で過ごすお子様の人数、また一人の先生が見るお子様の人数が変わらないのであればよろしいと思います。</p> <p>【回答（子ども政策課）】 忍ヶ丘いるかこども園の利用定員の変更につきましては、在園児のきょうだいなど、1号認定の新入園の申込が多かったため、在園の2号認定児が保育の必要性がなくなった際に引き続き園に通うにあたって、1号認定児に切りかえるには、1号認定児の定員が不足しており、かつ2号認定の定員はそのニーズから変更を行わな</p>

い方向性であることから、2、3号認定児の定員は90人と変更はありませんが、1号認定児は9人の3人増となり、園全体の定員が増加します。なお、定員増加にあたっては、職員配置基準を満たしており、引き続き指導計画に基づいた教育・保育を行います。

(西岡委員)

特にありません。

(原委員)

特にありません。

(森本委員)

なし。

(大艸委員)

定員が増えることは、とても良いと思います。

(小林委員)

異議ありません。

(福井委員)

定員が増えるのは、良い事だと思います。

(山田委員)

特にありません。

4 その他について

その他、委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

(小寺委員長)

特になし。

(柏原副委員長)

やりがい応援作文コンクール、興味ある良い企画であると思います。実践の場で、活躍下さる保育士のなまの声を社会に伝えていくことができれば、人材確保にも繋がっていくと思います。また、事業内容から、保育士確保に対する子ども政策課の姿勢を受け取ることができます。保育士の質の向上を図りながらの事業展開を期待します。

(河原委員)

上記の園児利用定員の増員において、様々な条件を満たしているから申請されていると解釈してよろしいでしょうか。

【回答（子ども政策課）】

ご意見いただいた通り、設備基準、職員配置基準等を満たしたうえでの利用定員

の変更でございます。

(市林委員)

・保育士のやりがい応援作文コンクールについて～保育士さんの体験談の作文も良いかと思いますが、例えば、保護者の方からの作文もあっても良いのではないのでしょうか？四條畷の保護者が保育士さんに感謝しているというものです。温かい保護者が多い市となれば、そこで働きたいという方も増えるのでは？

【回答（子ども政策課）】

ご意見ありがとうございます。保護者さまからの温かい声は、先生方にとっての活力源でありますので、コンクールという形ではありませんが、保護者の声を伝えることは良いことだと思います。今後の参考にさせていただきます。

・保育士や学校園の先生方に「保護者対応」についての研修がおそらくあると思います。でも片方にだけ研修するより、両方つまり「保護者に対しての、先生と協力して子育てをするコツ」のような講座があってもいいのではないのでしょうか？入園前の必須講座で良いと思います。或いは入園手続きするときには受講済みであることが条件とか。僭越ながら、保護者より若い先生も多いですし、保護者は子どもを預けて一緒に育てて頂く立場であると同時に、若い先生方にとっては人生の先輩。先生が先生として良く成長されるように、大人として心を配るという観点も必要だと思うのです。長年 PTA などやってきて、不器用な保護者が多いなと思いました。「そんな言い方したら、そりゃ先生も気が悪いでしょ！」というような事例も見てきました。先生を敵に回す、或いはおびえさせる保護者ではなく、一緒に子育てを手伝って頂くパートナーとしての関係が出来たら子育ては、より楽しく、よりやりやすくなると思います。そんな取り組みが市にあったら素敵ではないでしょうか。

【回答（公立保育所・こども園）】

保護者さまとは子育てを一緒に支え合っていくことを共有できるようにクラス懇談やおたよりなどの発信、また普段の会話でコミュニケーションを取りながら、努めているところではありますが、ご提案がありましたように、研修を共同に受講するなどの機会を設けることにより、保護者さま・保育者の双方に子育てを一緒にという意識が高まるのではないかと感じました。今後に向け、何らかの形でそのような場を設定し実施できたらと思います。

・令和3年度の主な新規・拡充予定事業について

保育士さんの支援策、良いと思います。オンライン相談も今の時代に合っていて

よいと思います。

ICTを活用した指導力向上。素晴らしいと思います。板書だけでなく、視覚から入る情報が、わかりやすいですね。ただ事業で使う資料の作成により時間がかかりそうです。わかりやすく出来ている市販品（があるなら）の活用。或いは、素敵な授業用の PowerPoint データを作った先生がいらっしゃったらデータを市が買い上げて、市内の学校で共有するなど出来たらよいですね。

【回答（学校教育課）】

現在 GIGA スクール構想のなか、1人1台 PC 環境のなか、授業支援ソフトも同時に入れております。このソフトは、全国の教員が授業の事例をテンプレート化して共有する仕組みとなっており、すぐにでも活用できる教材が事前にインストールされております。また、市内の教員が独自に教材を作ったものも共有できる仕組みとなっております。

・土曜日フォローアップ教室を廃止して、放課後に行うのも、良いと思います。家からわざわざ学校に出向くより、放課後に引き続き行う方が、子ども達も参加しやすいのではないのでしょうか。ただ月2回が少ないように思います。毎日とは言いませんが、せめて毎週開催があればよいなあと思います。また土曜日が暇になったと、無作為に過ごすよりも、自然体験など子ども達の成長に必要な体験が出来る市であって欲しいです。

【回答（学校教育課）】

市としては、放課後子ども教室のメニューの一つとして月2回の学び舎を位置付けている状況でございます。これに加え、学校独自でフォローアップのための放課後学習等を実施している状況にあり、こちらは週1回以上行っている状況もでございます。学び舎と併せて、子どもたちの学びの保障に向け、学校と歩調を合わせ、今後も取り組んでまいります。

（西岡委員）

お世話になっております。保育士確保の支援策の事業が増え、毎年保育士確保に苦勞しているなのでこの対策により保育士（保育教諭）さんが増えていってくれたらいいなと思います。いつもありがとうございます。

（原委員）

令和3年度の主な新規・拡充事業ですが、「奨学金返済支援補助事業」や「保育士宿舎借り上げ支援事業」にせよ、あくまでも一部の方々にとっては有難いことですが、その他多数の人にとっては、全く関係のないことであり、再考をお願いします。

【回答（子ども政策課）】

保育士の確保は、本市において喫緊の課題です。とりわけ、国が定める子ども・子育て支援新制度の公定価格について、近隣市と大きな差があるために、給与面における保育士の処遇に差が生じ、地域区分が高い地域への人材流出につながりやすい状況となっています。この地域区分の見直しについて、従前から国等への要望を重ねてまいりましたが、令和3年度の実現に至らなかったことから、市独自支援に注力することが必要との判断のもと、新たな保育士支援施策を導入いたします。ご意見のとおり、すべての保育士に対する補助の実施は確かに望ましいと考えますが、その実施に際しては、地域区分に乖離があるままで実行するのではなく、まずは地域区分の差を解消することが最優先であると考えておりますので、新規施策により保育士の確保に努める一方で、引き続き国等に地域区分見直しの要望を行ってまいります。

(大艸委員)

特にございませぬ。

(福井委員)

子どもを育てやすい市になる様、がんばって下さい。

(山田委員)

特にありません。

5 令和3年度の開催日程について

令和3年度の子ども・子育て会議の開催につきましては、8月上旬と翌年3月上旬を予定しております。会議の日程が近づいてまいりましたら、改めてご連絡をさせていただきます。令和3年度につきましても引き続きよろしくお願いいたします。